

☆最近（ / ）のニュース

□ 衆議院の優越・・・教科書 p. 89 上図

<原則１> 国会の議決は衆議院・参議院の議決の一致が必要。

<原則２> 両院の議決が一致しない場合、（₁ ）会が組織されることあり。

<原則３> 以下の場合、衆議院に大きな権限が与えられている。 ＝「衆議院の優越」

優越事項	内 容
(1) 法律案の議決	参議院が衆議院と異なった議決をした場合、衆議院が出席議員の（ ₂ ）以上の多数で再可決したときは、衆議院の議決だけで成立。
(2) （ ₃ ）の議決	（ ₄ ）は衆議院に先に提出しなければならない。参議院が予算を受け取ってから（ ₅ ）日以内に議決しないときは、衆議院の議決が国会の議決となる。
(3) （ ₆ ）の承認	予算の議決と同じ。
(4) （ ₇ ）の指名	両院の指名が異なる場合は、予算のときの（ ₈ ）日以内が（ ₈ ）日にかわる。
(5) （ ₉ ）の決議	内閣に対して不信任の決議をすることができるのは衆議院のみ。参議院には議決権がない。

□ 国会の運営（法律ができるまで）・・・教科書 p. 91 上図

① 法律案を提案できるのは、国会（₁₀ ）か（₁₁ ）である。

② 議案に対して、国会での実質的な審議は、〔₁₂ 〕を中心に行われる。

その際、審議の過程で専門家などの意見を聞く（₁₃ ）会が開かれることもある。

③ ②で審議された結果が〔₁₄ 〕に報告され、討論ののち採決される。

④ ただし、最低必要な出席数である（₁₅ ）として、委員会では、総議員の（₁₆ ）以上、本会議では（₁₇ ）以上と定められている。

課題 なぜ、衆議院にのみこのような大きな権限があたえられているか？

☆最近（ / ）のニュース

□ 衆議院の優越（教科書 p. 97）

<原則１> 国会の議決は衆議院・参議院の議決の一致が必要。

<原則２> 両院の議決が一致しない場合，〔¹ 両院協議〕会が組織されることがあり。

<原則３> 以下の場合，衆議院に大きな権限が与えられている。＝「衆議院の優越」

優越事項	内 容
(1) 法律案の議決	参議院が衆議院と異なった議決をした場合，衆議院が出席議員の（ ² 3分の2）以上の多数で再可決したときは，衆議院の議決だけで成立。
(2) (³ 予算) の先議と議決	(⁴ 予算) は衆議院に先に提出しなければならない。参議院が予算を受け取ってから（ ⁵ 30）日以内に議決しないときは，衆議院の議決が国会の議決となる。
(3) (⁶ 条約) の承認	予算の議決と同じ。
(4) (⁷ 内閣総理大臣) の指名	両院の指名が異なる場合は，予算のときの（ ⁸ 30）日以内が（ ⁸ 10）日にかわる。
(5) (⁹ 内閣不信任) の決議	内閣に対して不信任の決議をすることができるのは衆議院のみ。参議院には議決権がない。

□ 国会の運営（法律ができるまで）

⑤ 法律案を提案できるのは，国会（¹⁰ 議員）か（¹¹ 内閣）である。

⑥ 議案に対して，国会での実質的な審議は，〔¹² 委員会〕を中心に行われる。

その際，審議の過程で専門家などの意見を聞く（¹³ ^{こうちょう}公聴）会が開かれることもある。

⑦ ②で審議された結果が〔¹⁴ 本会議〕に報告され，討論ののち採決される。

⑧ ただし，最低必要な出席数である（¹⁵ ^{ていそくすう}定足数）として，委員会では，総議員の（¹⁶ 2分の1）以上，本会議では（¹⁷ 3分の1）以上と定められている。

課題

なぜ、衆議院にのみこのような大きな権限があたえられているか？

衆議院には解散制度があり、議員の任期も短いので、国民の意思がよく尊重されているから。